

## 広島県中小企業団体中央会 2017年8月分情報連絡一覧表

### 食料品

#### ●食料品

##### 中国醤油醸造協同組合

8月の出荷量は前月比7.5%減少、前年同月比9.4%増加、売上高は前月比5.0%減少、前年同月比4.1%増加となった。

### 木材・木製品

#### ●木材・木製品

##### 福山木材協同組合

7, 8月と売上は減少したが、秋需要に向けて上向きそうな気配である。

##### 広島県木材協同組合連合会

平成 29 年 7 月

- ・全国の住宅着工戸数は 83,234 戸で、前年同月比 2.3%減少
- ・季節調整済年率換算値では 97.4 万戸（前月比 3.0%減少）
- ・利用関係別では、持家は 25,370 戸で前年同月比 5.7%減少、貸家は 36,365 戸で前年同月比 3.7%減少、分譲住宅は 21,037 戸で前年同月比 5.7%増加
- ・木造住宅の着工数は 47,685 戸で、前年同月比 2.1%減少。住宅着工の動向は、前年同月比で先月の増加から再び減少となっている。
- ・広島県内の着工戸数は 2,002 戸で前年同月比 15.7%増加
- ・利用関係別では、持家は 527 戸で前年比 7.8%の増加、貸家は 722 戸で前年比 9.6%減少、分譲は 752 戸で前年比 70.1%の増加
- ・県全体の住宅着工の動向は、昨年の堅調な動きの反動による一時的な減少傾向から、4月以降上向き気配で好調となっている。
- ・地域別では、広島市が着工戸数 1,047 戸で 4.8%増加、福山市が 347 戸で 62.1%増加、呉市が 145 戸で 202.1%増加、廿日市市は 91 戸で 82.0%増加、東広島市は 74 戸で 14.9%減少、尾道市は 37 戸で 27.5%減少プレカットを中心に多忙を極める中で、今後の反動への懸念や、需要の継続性について先行きを不安視する声もあり、経営規模や業態によっても売上や収益等に偏りがある聞き取り結果となった。不安定な需要環境等は体力や設備投資の難しい中小会員にとっては厳しい経営環境となっており、今後の動向をしっかりと注視していく必要がある。

### 印刷

#### ●出版・印刷・同関連

##### 広島県印刷工業組合

景況感に特に変化はない。

### 化学・ゴム

#### ●工業用ゴム製品

##### 中国ゴム工業協同組合

先月から特に変化なし。

自動車業界は非常に繁忙が続いており、これ以上の受注は難しい。設備能力の向上のみならず、労働生産性向上にも地道に取り組んでいく必要がある。

#### ●プラスチック製品製造業

##### 広島県プラスチック工業会

今月は売上・設備操業度は全体的に各社横ばいから上向き傾向にある。

自動車関連も同様である。消費財製品市場も横ばい傾向である。

## **窯業・土石製品**

### **●窯業・土石製品**

#### **広島地区生コンクリート協同組合**

出荷状況(24工場)

29年8月 3,110m<sup>3</sup> (対前年0.3%増加)

29年7月 3,453m<sup>3</sup>

28年8月 3,101m<sup>3</sup>

## **一般機器**

### **●一般機械器具**

#### **協同組合三菱広島協力会**

広島県西部地区において、航空機の組立・部品製作及びタービン・コンプレッサ、製鉄機械、各機種に携わる協力会社各社の操業は定時間内の状況である。

#### **広島県東部機械金属工業協同組合**

今月の売上は、スポット受注による増減と出荷時期の変更により前月比19.3%減少、前年同月比14.6%減少となった。

## **電気機器**

### **●電気機械器具**

#### **広島県東部機械金属工業協同組合（電気機械器具）**

今月の売上はお盆による稼働日数の減少と個別受注納期の変動があり、前月比5%減少、前年同月比変化なしとなった。国内外での受注は横ばいである。

取引先に価格交渉をしているが、厳しい状況である。残業規制が厳しくなれば、大いに経営を圧迫する。雇用問題、賃金問題、残業規制など、中小企業にとっては厳しいものばかりである。

## **輸送用機器**

### **●輸送用機械器具（自動車）**

#### **東友会協同組合**

組合員の業況は、ビジネス依存度の高い主要顧客（マツダ）の下記業況に比例している。

8月の国内自動車販売台数は全需が355千台、前年同月比5.5%増加と10ヶ月連続の前年超えとなった。登録車は前年比4.7%増加と2ヶ月振りの前年超え、軽自動車は7.2%増加と5ヶ月連続の前年超えとなった。マツダ車は7.1%減少と3ヶ月振りの前年割れとなった。

アメリカの7月の全需は1,415千台で前年同月比7.0%減少と7ヶ月連続の前年割れ。マツダ車は同3.0%減少と4ヶ月連続の前年割れとなった。

欧州の7月の全需は1,374千台で、前年同月比4.7%増加と3ヶ月連続の前年超えとなった。マツダ車は同0.1%減少と4ヶ月連続の前年割れとなった。

中国の7月の全需は1,923千台で、前年同月比3.8%増加。マツダ車も同7.1%増加と6ヶ月連続の前年超えとなった。

上記各地域の状況下、マツダ車の7月の海外販売合計台数は112千台、前年同月比3.3%増加と2ヶ月振りの前年超えとなった。

マツダの7月の輸出動向については、輸出台数は前年比8.4%増加と2ヶ月連続の前年超えとなった。

マツダの7月の国内生産台数は、前年同月比1.4%増加と3ヶ月連続の前年超えとなった。

### **●輸送用機械器具（造船）**

#### **中国地区造船協議会**

県内2,500総トン以上の平成29年8月の船舶建造許可実績は2隻174,400総トン(前月3隻238,500総

トン、前年同月1隻144,000総トン)であった。なお、このうち1隻は貨物船で1隻が油槽船で国内船が1隻、輸出船が1隻となっている。

### ●輸送用機械器具（造船関連団地）

#### 呉鉄工業団地協同組合

受注量は微減しており、今後も先行き不透明感が漂っている。

### その他

### ●家具・装備品

#### 広島家具工業協同組合

学習機の販売見通しについて（日本オフィス協会予測）、今シーズンの購入対象者となる新入学児童は約104.7万人と予想されており、購入台数は約60万台が見込まれている。そのうち組合員企業の販売数は3%前後と想定している。

今期の学習機平均単価は約78千円。組合員企業は約120千円前後の見込み。購入種類としては①棚付（木製で棚が選べるタイプ）が45%、②棚付（従来型）20%、③ユニットタイプ（組み合わせ自由）10%、④平机他15%、⑤その他ベッドデスクなど10%となっており、組合員企業は①②④が販売の中心となっている。

### 卸売業

### ●卸売業（総合）

#### 協同組合広島総合卸センター

景気は緩やかに拡大していると言われているが、管内企業においては、ややデフレ傾向にある。中小企業にとっては雇用の確保、人件費アップ等の問題が徐々に拡大している。

「資材関連」においては、公共工事請負金額、新設住宅着工件数は減少傾向にある。

「食品」においては、既存の取引先への売上は減少傾向。人件費アップにより減益となっている。

「繊維」においては、婦人下着製造・卸業者が自社工場の閉鎖を決断。理由としては最低賃金の上昇によるものである。商品は海外等への外注委託となる。

「雑貨」においては、生活雑貨の既存店への売上は対前年比減少と苦戦している。人材流出している企業もある。

### ●卸売業（電設資材）

#### 広島県電設資材卸業協同組合

インターネット通販の普及により小口配達が増加し不在再配達等が運送業界では問題となっている。我々電設資材業界では、この問題の1つの解決策として、業界初の、外出先でもスマートフォンで来客対応が出来るインターホンと、住宅用配達BOXの提案により留守配達問題を解決できるよう取り組んでいく。インターホンは配達問題だけではなく、防犯面でも期待される商品である。

### ●卸売業（家具）

#### リビズ株式会社

売上減少等景況感の悪化により今月末で1社退会された。

### ●卸売業（畳・敷物）

#### 広島県藁製品商業協同組合

国内主産地の熊本産地では、11月頃に植え付ける8月苗の植え付けを行っており、生産は予想より遅れ5割の稼働率で9月から本格的な生産となる見込みである。広島県の生産農家では、受注品の生産に追われ稼働を続けている。9月に入って展示会等が開催されるため、ビジネスチャンスも得られるかと期待している。相場は強い気配である。

## 小売業

### ●各種商品小売業

#### 協同組合三次ショッピングセンター

8月1日から新テナントがオープンし、客数は前月比1.7%増加となったが、大型テナントの売上減少が大きく全体では対前年比減少となった。客数の増加により飲食店の売上が伸びているため、他業種店舗も購買増につながる仕掛けづくりをしていく必要がある。

#### チューリップチェーン商業協同組合（チェーンストア）

8月の売上も前月比、前年同月比共に減少した。しかし減少幅は縮小してきており、やや好転の兆しが見える。これは新規販売店の増加と関東、東北地方の長雨の影響により青果物の値段が高騰したためである。しかし相場高のため、収益率は悪化することが予想される。今後は組合員に対し販売単位や値入ミックス（値入率）などの指導支援を行いたいと考えている。

### ●家庭用電気機械器具小売

#### 広島県電器商業組合

8月度の販売実績は前年同月比3.6%減少となった。商品別では、液晶テレビ前年同月比5.6%減少、冷蔵庫同3.9%減少、洗濯機同1.5%増加、IHクッキングヒーター同19.7%減少、エアコン同6.2%増加となった。

### ●その他の小売業（燃料）

#### 広島県石油商業組合

原油価格が比較的安定しているため、小売価格も値動きが少ない。しかし、利益率は低く日々の資金繰りに苦慮しており、今後の設備投資のための資金にまで回せる余裕がない。

多くの事業所において人手不足の問題は継続している。

## 商店街

### ●商店街（各種商品小売業）

#### 呉本通商店街振興組合

呉中央地区商店街共催の土曜夜市が8月5日に開催され、当商店街でも「きらら夏フェス」と銘打って参加し延べ300人以上の来場者を集めた。

8月6日には岡崎まちゼミ会代表の松井洋一郎氏を講師に中央地区商店街会員等の参加を得て7月に続き第2回まちゼミセミナーを開催し、新たな集客方法等について検討中である。

#### 広島金座街商店街振興組合

猛暑により、来街者が例年に比べて少なく、売上への影響も大きい。

## サービス業

### ●自動車整備業

#### 広島市自動車整備団地協同組合

車検台数は前月比14.2%減少、前年同月比0.5%増加。車検場収入は前月比14.9%減少、前年同月比0.5%減少。重量税・登録印紙の売上は前月比28.3%減少、前年比16.2%の減少となっている。前月比減少は稼働日数の減少による季節的要因であるが、重量税はリース車検の増加による減少である。（リース車の場合、重量税印紙はリース会社添付のため）

### ●広告業

#### 広島県広告美術協同組合連合会

一部企業では売上増により好況となっているが全体では低調である。

屋外広告物に従来ほど予算をかけず、マスコミ（TV、ラジオ、新聞、雑誌）広告が多くなってきている。

## **建設業**

### **●工事業**

#### **広島県室内装飾事業協同組合**

カーテン、敷物の2品目はそれぞれ前月比66.2%増加、13.1%増加となったが、壁装は24%と減少した。前年比についてはカーテン、壁装の落ち込みが激しい。敷物も7.1%減少と低調。9月以降の建築完成物件の増加を期待している。

#### **神辺建設業協同組合**

建設業への就労率は下降の一途をたどっており、慢性的な労働者不足を依然脱却できていない状況である。若年層に対し魅力ある就業環境を整えるため、早急に国、自治体、企業が取り組む必要がある。また、外国人労働者への健全な作業環境改善も急務であると思われる。

#### **福山地区電気工事業協同組合**

今月の工事受注件数は、前月比9.1%増加、前年同月比15.8%減少となった。

## **運輸業**

### **●道路貨物運送業**

#### **松永地区トラック事業協同組合**

8月の売上は、「山の日」からお盆休みに入る企業がほとんどで、稼働日数が前年比2日減少となり、そのことが売上高の減少に繋がった。収益状況は、8月は軽油価格の上下動がなく、前年比変化なしとなった。このように、運賃だけでなく稼働日、軽油価格、天候等が関係し、売上高の増減や収益状況に影響している。

ドライバー雇用については益々深刻化しており、若手ドライバーの新規採用はほとんどなく、在籍ドライバーの高齢化が進み先行き不安を訴える事業主が多い。

#### **広島輸送ターミナル協同組合**

車両不足が進んでおり、運送事業者が荷物を選別するようになってきている。

今後の運賃値上げと労働条件の改善を期待する。

#### **協同組合尾道地区総合トラックセンター**

8月の荷動きは、夏期休暇等稼働日数の減少により売上は前月比減少であるが、全体としては前年並みである。

### **●水運業**

#### **全国内航タンカー海運組合中国支部**

船員の高齢化が進んでいると同時に若年船員が育っていないため、船員不足である。

運賃、用船料の改善が見られない。

## **その他**

### **●不動産業**

#### **広島県不動産評価システム協同組合**

前月比は時節柄お盆休み等により売上高が減少し、収益状況は悪化している。前年同月比は特に変化なし。

不動産市場は低金利の影響でマンション需要が好調で、新築も複数棟計画されている。